


不安だらけ… 修学旅行に大阪・関西万博?



ガス爆発事故が起きたが対策は不十分。

開催中もガス濃度を測定すると言うがメタンガスが発生する廃棄物処分場で開くことがそもそもおかしい

人工島で交通アクセスも不便。避難計画も不十分。

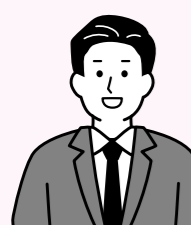
災害時には橋やトンネルが通行不能になり最大22万人の来場者が帰宅困難になるとの指摘もある。

予定したパビリオンも建たず… そもそも開催できる?

昼食会場は狭く、パビリオンと駐車場も遠い。

暑さ対策も不安いっぱい。ヒアリまで発見された。

しもおく奈歩県議は6月26日の教育スポーツ委員会でこの問題をとりあげました。



Q 子どもの安全確保について

A 修学旅行などの集団宿泊行事や遠足を行う際には児童生徒の安全確保を何より大切にしている。学習指導要領にも「あらかじめ現地調査を行い、現地の状況や安全の確認等を十分に行う」とある。


県教育委員会

Q 万博は下見できないのでは?

A 通常、学校は下見をしたうえで、修学旅行を実施している。安全性が十分でない判断した場合は、直前であっても訪問を中止したり、行き先を変更する。

Q 問題を検証すべきでは?

A 国から依頼が出ていることから考えても、大阪・関西万博を修学旅行先として計画することについては問題ないと考えている。



大阪・関西万博を修学旅行先に選択することは、安全面に關わる大きなリスクを伴います。会場の安全性に対する懸念や不安が解消されないまま、修学旅行先に推奨するべきではありません。安全を何よりも最優先に考えた慎重な判断を促すべきです。



Kengidan

県議団ニュース

News

Vol.5



しもおく奈歩

日本共産党

2024.8

愛知県議団


6月議会報告

パレスチナに平和を!! 全会一致 採択

ガザでの停戦を求める決議

2月議会の時から各会派と議長へ要請

一人会派の共産党からは決議案を提案できず悔しい思いをしてきましたが、市民の声も大きな後押しになり採択できました。あきらめずに働きかけてよかった。



イスラエル・ガザ地区での停戦を求める決議等を採択した議会

2024年7月3日現在


大府市議会、春日井市議会、蒲郡市議会、知多市議会、東郷町議会、安城市議会、岩倉市議会、名古屋市会、尾張旭市議会、小牧市議会、豊川市議会、愛知県議会

ガザ地区における人道上の危機的状況の改善と速やかな停戦の実現を求める決議

イスラエルとハマスのパレスチナ武装勢力との間では、武力衝突と停戦が長年にわたり繰り返されている。昨年10月7日のハマス等によるイスラエルに対するテロ攻撃が発生し、ガザ地区での戦闘が始まってから、既に8か月が経過した。戦闘が長期化する中で、子供や女性、高齢者を含む多くの民間人が犠牲となっており、ガザ地区は人道上の危機的状況にある。本県議会は、人質を解放し、人道支援活動が可能な環境が確保されるよう、即時の停戦を求めるとともに、持続可能な停戦に繋がるよう強く期待する。また、未だ多くの人々が身を寄せるガザ地区南部ラファにおける全面的な軍事作戦に反対するとともに、人道支援活動が阻害されることのないよう求める。国に対しては、人質の解放と停戦が実現するよう、関係国とも緊密に連携しつつ、国際連合安全保障理事会やG7の一員として環境整備に取り組むとともに、引き続き、ガザ地区の人道上の危機的状況の改善、事態の早期沈静化のために格段の外交努力を払うよう強く求める。以上、決議する。 令和6年7月3日 愛知県議会


核兵器廃止へ

戦争も核兵器もない世界をめざして、8月の広島へ向け進む平和行進。6月1日は豊橋市内を行進。しもおく奈歩県議も党豊橋市議団と共に市内を歩きました。県議は「一日も早く戦争や核兵器をなくせるよう平和な世界を共につくる政治に変えよう!」と挨拶しました。



いのちを支える水道は直営で

豊橋市の水道水の7割は愛知県水道から供給されています。愛知県は豊橋浄水場の再整備をPFI(民営化)で行い30年の長期契約で運転管理を企業に委ねる計画です。しもおく奈歩県議はこの計画に反対しています。5月17日には党豊橋市議団と一緒に豊橋浄水場及び隣接する市営小鷹野浄水場を調査しました。市は水道事業の直営を堅持しています。安全・安心な水を市民に責任をもって供給することの大切さを実感しました。




背景に軍の関与

イスラエル企業との連携は中止せよ

イスラエルによるパレスチナ・ガザ地区へのジェノサイド攻撃が続くなかでも、愛知県はイスラエルのスタートアップとの連携事業を継続しています。ところがそのイスラエル企業には、軍需製品や軍事システムの開発製造企業を顧客とする会社もあることが判明しました。

しもおく奈歩県議は7月2日愛知県に対し、「このままでは愛知県がイスラエルの虐殺を容認していると言われかねない。虐殺を続けるイスラエルとのスタートアップでの協力は凍結を!」と厳しく申し入れ、3日の本会議でも、スタートアップ支援事業の見直しを訴えました。

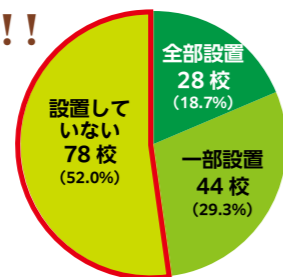


中央 しもおく奈歩県議、右 日本共産党すま初美氏

すべての高校トイレに生理用品を!

県が実態調査を実施!!

しもおく議員が2月議会で求めた高校トイレへの生理用品の設置状況実態調査が4月に行われました。過半数の高校がトイレに設置していない実態があらかになりました。



愛知県立高校の生理用品設置状況調査より

設置が進んでいる自治体での高校生の声を紹介

- 緊急時やナプキンを忘れたときに助かった
- 保健室に取りに行くのが恥ずかしかったけど、(トイレにあるので)安心につながった

答弁が後退!?

2月議会の答弁

「人権の観点からも必要な時に生理用品を入手できるようにすることは大切」

6月議会の答弁

「使い慣れた製品を自分で持つというのが、いまのところ社会の一般的な感覚だと考えている」

しもおく奈歩議員は「生理用品はトイレトーパーと同様に、女性にとっては日常的に使う生理用品も社会的インフラと位置付けて、すべての高校のトイレに設置すべき」と強く求めました。

地域にも教育にも大損失

一学校統廃合見直しをー

県立津島北高校(津島市)と県立海翔高校(弥富市)を統合し、津島北翔高校を設置する条例案について、委員会で質疑し、反対したのは、しもおく県議ただ一人でした。

この統合で弥富市は県下38市で唯一県立高校がない市となり、海部南部地域(弥富市、蟹江町、飛島村)は新たな県立高校空白地域に。

海翔高校は、地域の施設と連携して介護の担い手を育成し、また困難を抱える子どもたちも受けとめています。

この高校を創立からわずか20年で廃止するのは愛知の教育にも地域にとっても大損失であり、認められません。



2026年アジア・アジアパラ競技大会

「大会経費示さず」「クルーズ船活用もいつまで決めるか、期日示さず」「ジェンダーギャップも深刻」
不確定要素が次々と明らかに…
大会経費の透明性を!

2023年9月議会答弁

「簡素で合理的、機械的な大会運営により予算の範囲内で収まるように努力していく」

2024年6月議会答弁

「関係者と調整を進めているところでございますので、現時点では具体的な数字(大会経費が膨れるか)をお示しすることができない」

しもおく県議は、経費の透明性を高め、大会経費の見通しを県民に公開してこそ、県民に歓迎される大会にできる、と強調しました。

法令守れぬトヨタの重役

公安委員はトヨタの指定席か?



愛知県公安委員会は、警察を民主的に管理運営するために設けられた行政機関。法令違反を取り締まるのが警察の仕事です。その警察を管理する公安委員には、何よりも法令順守の姿勢が求められます。

しもおく奈歩県議は、トヨタ車体社長の増井敬治氏を公安委員にあてる人選のやり直しを申し入れ、本会議でも反対討論を行いました。

トヨタ出身の公安委員が選ばれるのはこの10年間で4人目、まるで指定席のようです。ところがいまトヨタ自動車は、自動車の大量生産に必要な認証「型式指定」をめぐる不正問題の渦中にありその経営体質が社会問題となっています。今回選ばれた増井敬治氏は、トヨタ自動車の専務も務めた方であり、事件にも責任を負う立場にあります。いまトヨタの重役を公安委員に任命すれば、愛知県は不正を容認したかのように県民の目に映り、県民の理解を得ることはできません。

防災これでいいのか?

民営化や大型開発よりもくらしと生業の支援を!

基幹的広域防災拠点の整備
3年も遅れた!

県営名古屋空港の隣に整備する基幹的広域防災拠点は救援活動の拠点となる、緊急性の高い事業です。しかし、民間活用(PFI)にこだわり続けて、2年連続で事業者が決まらず、完成が3年も遅れる事態に。県民の命とくらしを守る防災事業は県の直営事業として行うべきです。

強靱化よりも被災者に寄り添え!

「防災・減災、国土強靱化対策の更なる推進についての意見書」について、防災・減災対策の推進は必要ですが、国土強靱化には賛成できません。

自公政権の国土強靱化は、強靱な経済基盤づくりを重点にし、リニアや道路ネットワークの機能強化など大型開発を防災の名で進めるものです。

能登半島地震では、劣悪な避難所生活の長期化など住民の生命とくらしが脅かされましたが、強靱化では対応できません。

住民と自治体が必要とする、命と生業を守る施策にこそ全力で取り組むよう国に求めるべきです。

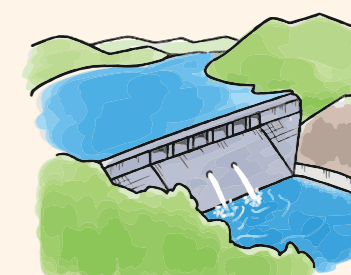


新丸山ダム建設の基本計画変更 ダム頼みは見直しを!!

新丸山ダムは岐阜県の本丸川中流に治水目的で建設予定です。

1980年の事業開始から既に44年ですが完成の見通しが見えません。計画変更案では完成予定を7年遅らせ、費用も倍増。愛知県の負担も試算では390億円から800億円に。

いま洪水対策はダム頼みから河川流域全体の対策へと変わっています。ダム建設の中止も含め治水対策を総合的に見直すべきです。



6月議会の委員会質問、本会議討論の概要を紹介します

詳細は日本共産党愛知県議団ホームページをご覧ください



子どもの権利として給食無償化を! 愛知県へ半額補助を迫ろう

日本共産党愛知県議団は6月15日、「学校給食を考える学習会」を開きました。福島尚子千葉工業大学准教授が、「給食は『食の権利保障』であり、無償化は子どもの権利保障のための手段、格差ない権利保障へ国や県にも働きかけを!」と語りました。

しもおく奈歩県議も、「愛知県の財政力は全国2位、給食無償化に必要なお金は約300億円、半額補助の150億円は県予算の約0.5%。子どもの権利を守り市町村を応援する県政にしたい。県に半額補助を求める運動を広げましょう」と呼びかけました。



議会改革を申し入れ

6月10日、しもおく奈歩県議は直江弘文議長に、県議会へ議会改革について6項目を申し入れました。「少数会派の質問回数の制限撤廃」、「委員会のネット中継の実施」を特に強く求めました。



デモ行進も有料化?

愛知県警は6月からデモ行進など道路使用許可申請について2500円の手数料徴収を始めました。しもおく奈歩県議は6月11日、愛労連(愛知県労働組合総連合)や国民救援会愛知県本部と共に、これまで通りデモ行進は手数料の対象にしないよう申し入れました。

デモ行進は憲法が保障する公共性の高い市民の正当な権利行使です。力をあわせてデモ行進の有料化を撤回させ、市民の権利を守りましょう!

